

第 25 回学術集会プログラム

第 1 日目 8 月 26 日 (月)

開会挨拶 13:10-13:15

【一般演題】

Session A 魚類の免疫学

座長：小高智之（福井県立大学）

- A1 13:15 **ヌタウナギ血清に含まれる抗原認識分子の同定**
○山口 智和¹, 高宗 和史¹, 近藤 昌和², 高橋 幸則², 鶴木(加藤) 陽子³, 中尾 実樹⁴, 加藤 眞一⁵, 吉国 通庸⁵, 大野 薫⁶, 藤井 保⁷
(¹熊本大学大学院・自然科学研究科, ²水産大学校・生物生産学科, ³九州大学大学院・農学研究院研究教育支援センター, ⁴九州大学大学院・農学研究院生命機能科学部門, ⁵九州大学大学院・農学研究院資源生物科学部門, ⁶基礎生物研究所・多様性生物学研究室, ⁷県立広島大学・人間文化学部)
- A2 13:30 **Characterizations of membrane-bound complement regulatory protein in Ginbuna Crucian Carp *Carassius auratus langsdorfii***
○Indriyani Nur, Hikari Harada, Ryota Nakamura, Masakazu Tsujikura, Tomonori Somamoto, Miki Nakao
(Graduate School of Bioresource and Bioenvironmental Sciences, Kyushu University)
- A3 13:45 **GVHD 誘導に伴うドナーT リンパ球における免疫関連遺伝子の発現解析**
○岡本修太¹, 柴崎康宏^{1,2}, 松浦雄太¹, 藪健史¹, 森友忠昭¹, 中西照幸¹
(¹日本大学獣医学科魚病学研究室, ²日本学術振興会特別研究員)
- A4 14:00 **ギンブナにおけるインターフェロン γ 産生細胞の同定**
○有田希¹, 柴崎康宏^{1,2}, 松浦雄太¹, 藪健史¹, 森友忠昭¹, 中西照幸¹
(¹日本大学獣医学科魚病学研究室, ²日本学術振興会特別研究員)

座長：柚本 智軌（九州大学）

- A5 14:15 **トラフグ好塩基球の抗原提示細胞としての可能性**
○小高智之, 末武弘章, 前田知己, 宮台俊明
(福井県立大学海洋生物資源学部)
- A6 14:30 **トラフグ好塩基球は寄生虫感染に対して応答する**
○小高智之, 末武弘章, 前田知己, 宮台俊明
(福井県立大学海洋生物資源学部)

- A7 14:45 **トラフグ腹腔 B 細胞の同定と機能解析**
○齋藤匠, 小高智之, 末武弘章, 前田知己, 宮台俊明
(福井県立大学海洋生物資源学部)

休憩 15:00 - 15:15

座長：近藤昌和（水産大学校）

- A8 15:15 **コイの各臓器における $\gamma\delta$ T 細胞の多様性について**
○宮前二郎, 四反田聡, 山口卓哉, 森友忠昭, 中西照幸
(日本大学獣医学科魚病学研究室)
- A9 15:30 **コイ IL-2 関連サイトカインの遺伝子クローニングと T 細胞培養系における発現解析**
○銘苅裕二, 石原裕美, 染谷和江, 山口卓哉, 藪健史, 森友忠昭, 中西照幸
(日本大学獣医学科魚病学研究室)
- A10 15:45 **The evolution of the three-member IL-2/15/15L cytokine family**
○J. M. Dijkstra¹, F. Takizawa², U. Fischer², K. Hashimoto¹
(¹藤田保健衛生大学、²Friedrich Loeffler Institute)
- A11 16:00 **条鰭類における免疫プロテアソームサブユニット *PSMB8* 遺伝子の二型性の進化**
○野呂恵, 野中勝
(東京大学大学院理学系研究科免疫分子進化学研究室)

Session B 恒温動物の免疫学

座長：澤田知夫（山口大学）

- B1 16:15 **ニワトリ IL-5 受容体 α 鎖の同定と IL-5 様タンパク質との結合性解析, および mRNA の発現解析**
○熊谷愛美, 福島祐二, 宮井智浩, 堀内浩幸, 古澤修一
(広島大学・免疫生物学研究室)
- B2 16:30 **重症貧血マウスにおける胚子ヘモグロビン再発現の解析**
○大塚裕忠, 中村雅典
(昭和大学歯学部口腔解剖学教室)
- B3 16:45 **脂肪酸結合蛋白質 FABP7 によるマウス Kupffer 細胞の機能制御**
○河村沙樹, 宮崎啓史, 澤田知夫, 大和田祐二
(山口大学大学院医学系研究科器官解剖学)

第2日目 8月27日(火)

【一般演題】

Session C 無脊椎動物の免疫学

座長：柴田俊生（九州大学）

- C1 9:15 深海性二枚貝シマイシロウリガイのモノクローナル抗体ライブラリー
○大石和恵¹, 中村欽光¹, 日下智保¹, 本郷悠貴¹, 多米晃裕², 中澤正年³,
藤島政博⁴, 藤倉克則¹, 吉田尊雄¹, 丸山正¹
(¹海洋研究開発機構・海洋生態環境, ²(株) マリンワーク・ジャパン,
³横浜市大・医, ⁴山口大・理)
- C2 9:30 シチヨウシンカイヒバリガイ PGRP 遺伝子の同定と
発現パターン
○生田哲朗¹, 大石和恵¹, 本郷悠貴¹, 長井裕季子, 丸山正¹, 吉田尊雄¹
(¹(独) 海洋研究開発機構, ²東京海洋大学)
- C3 9:45 甲殻類の血球：無血球甲殻類および単血球十脚甲殻類
○近藤昌和, 安本信哉, 高橋幸則
(水産大学校生物生産学科)

座長：古川亮平（岩手医科大学）

- C4 10:00 クルマエビのサイトカインに関する研究：VEGF および Astakine に
ついて
○稲田真理¹, 湯井敏文², 河野智哉³, 廣野育生⁴, 近藤秀裕⁴, 酒井正博¹,
伊丹利明¹
(¹宮崎大学農学部, ²宮崎大学工学部, ³宮崎大学 IR 推進機構,
⁴東京海洋大学ゲノム科学研究室)
- C5 10:15 架橋酵素による腸管上皮の情報伝達制御と腸内細菌叢の維持機構
○柴田俊生¹, 関原早苗², 藤川匠², 楨光輝², 石原健^{1,2}, 小柴琢己^{1,2},
川畑俊一郎^{1,2}
(¹九州大学大学院・理・生物科学, ²九州大学大学院・システム生命科学)
- C6 10:30 ショウジョウバエ細菌認識分子 PGRP-LE による菌感染依存的
オートファジー誘導機構
○矢野環, 若林康介, 白田陽一, 村野聡, 倉田祥一朗
(東北大大学院・薬)
- C7 10:45 ホソヘリカメムシ共生器官で特異的に発現する遺伝子群の同定
○大林翼^{1,2}, 二橋亮², 菊池義智^{1,2}
(¹北大・農, ²産総研・生物プロセス)

座長：稲田真理（宮崎大学）

- C8 11:00 共生細菌が誘導する昆虫共生器官の形態変化
○菊池義智^{1,2}
(¹産総研・生物プロセス, ²北大・農)
- C9 11:15 ヒトデ幼生の2種のマクロファージ遊走阻止因子は異物に集積する
間充織細胞数を調節する
○古川亮平^{1,2}, 玉木香菜^{2,3}, 金子洋之²
(¹岩手医科大学・いわて東北メディカルメガバンク機構,
²慶應義塾大学・自然科学研究教育センター, ³名古屋大学・医学部)
- C10 11:30 節足動物における TEP ファミリー遺伝子の進化
○関口玲生, 野中勝
(東京大学・大学院理学系研究科・免疫分子進化学研究室)
- C11 11:45 カタユレイボヤにおける補体成分 C3 遺伝子の再探索
○日比野拓¹, 野中勝²
(¹埼玉大・教育学部, ²東京大学大学院・理・生物科学)

昼食 12:00 - 13:00

総会・表彰式 13:00 - 14:15

休憩 14:15 - 14:30

古田賞受賞講演（座長：笠原正典）

14:30 **MHC とプロテアソーム *PSMB8* 遺伝子の二型性の進化**
野中勝
(東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻)

休憩 15:00 - 15:10

特別講演（座長：浅田伸彦）

15:10 **MHC 多型の維持機構と進化学的応用**
高畑尚之
(総合研究大学院大学)

16:20 写真撮影

17:00 懇親会場行き無料バス出発

18:00 懇親会（ピュアリティまきび, 岡山市北区下石井 2-6-41）

第3日目 8月28日(水)

シンポジウム 「進化生物学から見た比較免疫学」

司会：佐々木年則（国立感染症研究所）

- S1 9:15 寄主寄生蜂間相互作用：ハチがコントロールするもの
田中利治
(名古屋大学大学院生命農学研究科)
- S2 9:45 細胞死（アポトーシス）の分子機構とその生理的役割
酒巻和弘
(京都大学・生命科学研究科体制統御学部門)
- S3 10:15 フラビン酵素に由来する生体防御
頼田和子
(徳島大学・疾患酵素学研究センター)
- S4 10:45 ウエルシュ菌の産生するフィブロネクチン結合タンパクについて
櫃本泰雄¹、山崎勤¹、片山誠一²
(¹岡山理科大学・臨床免疫学教室、²岡山理科大学・分子微生物学教室)

総合討論：11:15 - (11:30 終了予定)

閉会の辞：11:30